

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第8号を下記のとおり発表したもので送付します。

令和8年度病虫害発生予報第8号

令和8年10月29日
岡山県

予報概評

作物名	病虫害名	発生量
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病	並
	べと病	やや多
	コナガ	並
	ハスモンヨトウ	並
	アブラムシ類	やや多

(アブラナ科野菜)

(1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 10月26日の県予察ほ場（ハクサイ）の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月20、21日の巡回調査では発生を認めず、発生ほ場率は平年（16.6%）より低かった。

ウ. 10月22日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件となる。

(2) べと病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 10月26日の県予察ほ場（ハクサイ）の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月20、21日の巡回調査によると、キャベツでは発生を認めず、発生ほ場率は平年（2.0%）並で、ハクサイでは発生ほ場率18.2%と平年（6.6%）より高かった。

ウ．10月22日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件となる。

(3) コナガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア．県予察ほ場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～4半旬の誘殺数は6頭で平年（9.2頭）並であった。

イ．10月20、21日の巡回調査によると、ダイコンでは発生を認めず、発生ほ場率は平年（27.5%）より低かった。ハクサイ及びキャベツでは発生を認めず、平年（キャベツ8.0%、ハクサイ7.1%）並であった。

ウ．10月22日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、本虫の発生を助長する条件ではない。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア．県予察ほ場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～4半旬の誘殺数は1,951頭で平年（2,186.2頭）並であった。

イ．10月20、21日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めなかった。

ウ．10月22日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、本虫の発生を助長する条件ではない。

(5) アブラムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア．県予察ほ場（赤磐市）の黄色水盤における10月1～4半旬の飛来数は341頭で平年（203.4頭）より多かった。

イ．10月20、21日の巡回調査によると、ハクサイ（平年値2.8%）、キャベツ（平年値0.0%）、ダイコン（平年値7.7%）のいずれも発生を認めず、発生ほ場率は平年並であった。

ウ．10月22日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、本虫の発生を助長する条件ではない。

この情報は、岡山県病虫害防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

